

「川の日」記念行事

(since1998, 通算 27 回)

第17回 “いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in ひょうご神戸

～ 水のめぐみとともに生きる地域の力を、震災 30 年の地から発信する～

全国の “いい川”・“いい川づくり” 募集!!

川は、命を育み、地域の文化や暮らしを支えてきた、わたしたちにとってかけがえのない存在です。“いい川”・“いい川”づくりワークショップは、わたしたちが思い描く“いい川・いい水辺”とは何かを、地域で実践を重ねてきた市民・住民・行政がともに語り合い、学び合う場として、1998 年に「川の日」ワークショップとして始めました。

第 27 回となる本大会を開催する兵庫・神戸は、阪神・淡路大震災から 30 年という大きな節目の年を迎えます。都市と自然がせめぎ合いながら共存するこの地は、震災を経て、水辺の再生、防災、環境教育、コミュニティの再構築など、多様な取り組みを積み重ねてきました。震災の経験とそこから得られた教訓は、今もお川や流域との向き合い方に深い示唆を与えています。

また、兵庫県全域には、六甲山を源に瀬戸内海へと注ぐ都市河川から、丹波・但馬・播磨・淡路に広がる多様な自然環境や農山漁村の水系まで、地域ごとの個性と歴史をたたえた川や水辺が息づいています。瀬戸内海と日本海の両方に面する兵庫での開催は、都市・中山間・沿岸といった多様な地域が、それぞれの“いい川づくり”をつなぎ直す機会でもあります。

今回のワークショップでは、全国から寄せられた“これぞいい川・いい川づくり”という実践や思いをもとに、選考会や意見交換、フィールドワーク等を通じて、地域や世代を越えた交流の場を創出します。川と人との関係性を問い直しながら、これからの水辺のあり方をともに描いていく 2 日間です。

震災から 30 年という節目の地で、流域の未来を見据えた“いい川づくり”の対話と連帯を、ともに紡いでいきましょう。皆さんの参加を、心よりお待ちしております。

●日 時：2025 年 10 月 25 日（土）10：30 ～18：00

26 日（日） 9：00 ～15：30 ＊時間は予定です

＊ 10 月 24 日（金）午後 現地の川や活動の現場の見学会を予定（希望者、事前申込制）

●会 場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO（キイト）

（兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4）

＊アクセス：JR 神戸線「三ノ宮駅」から徒歩約 15 分 <https://kiito.jp/access/>

・主 催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口 侗 他約 100 名

・後 援（予定）：国土交通省、神戸市、明石市、兵庫県、兵庫県立人と自然の博物館、
神戸市立工業高等専門学校、ESD 推進ネットひょうご神戸

“いい川”・“いい川づくり” ワークショップとは？

- 2 日間にわたり行なわれる選考会のプログラムは、全体会場での全応募者による発表に始まり、共通するテーマごとのグループに分かれて行われるテーブル選考、復活選考、全体選考と、全てオープンに行われます。
- 選考は優劣を決めるものではありません。発表によるリアルな取り組みの中から、選考過程を通じた議論の深まり、新しい視点やそれぞれのタカラモノの発見、共有をめざします。
- 各選考は実行委員会からそれぞれ選出された選考員（市民、行政、学識者など）が行います。選考の考え方、評価のポイントは次のように考えています。
 - ◆ それぞれの川の「タカラモノ」に光を当て、“いい川”、“いい川づくり”とは何かを探ります。
 - ◆ 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
 - ◆ 公開選考会は、おおよそ以下の 4 つのカテゴリーにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価： “いい川”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価： 地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価： “いい川”を育むための市民・住民参加や、様々な分野の人達との協働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価： 川らしさの保全や“いい川”回復のために工夫された計画手法、技術等についての評価や“いい川”を実現した計画、技術などに対する評価 など
- 応募者は、規定のプレゼンテーション用パネルを用意し、自由な表現方法で発表、アピールします。1 件 3 分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みを発表すること、そして議論や交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかみます。
- 2 日間を通じた合意の深まり、学びあいの成果としてグランプリや入賞を選び、讃えあいます。

第17回「いい川」・「いい川づくり」ワークショップひょうご神戸

【大会概要】 ※プログラムの一部、時間等は予定です。詳細は追ってホームページ等でご案内します。

☆ 10月24日（金）午後 エクスカーション（希望者、事前申込制）

* 現地実行委員会の企画運営による現地見学会。尼崎運河、明石川、湊川隧道の水辺を訪ねます。詳細は追ってご案内します。

※ワークショップ参加者から希望者を募集します。詳しくは、別途チラシ、大会ホームページをご覧ください。

10月25日（土） 10:30 開会 ～18:00

・会場（両日）：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO KIITO ホール他

☆ 実行委員会（10:00～10:20）

（応募者・一般受付 10:20～）

開会・全体集会

- ・10:30 開会（全体会場）
- ・ワークショップの考え方や進め方等を共有します。

全体発表会
（全応募団体の発表）

- ・全体会場での全応募団体による発表会。
- ・大まかなテーマであらかじめ分けられたグループの順に従い、1件につき3分間で、続けて発表のみを行います。

グループ別
テーブル選考

- ・全体発表会での発表の後、テーマが共通するグループに分かれ、それぞれの会場（テーブル）でテーブルコーディネーターの進行のもと、選考員、発表者、一般参加者を交えてテーブル全体で議論します。
- ・議論により各テーブルから1～2件を翌日の全体選考に推薦します。

全体集会

- ・テーブル選考の討論概要、結果報告（各テーブル・コーディネーター）ほか
 - ・特別セッション 現地発「（仮題）阪神・淡路大震災から30年のまちと水辺を語り合う」
- （1日目終了）

* 1日目終了後、WEEKEND（東遊園地内）で交流懇親会を予定しています。後日、別途ご案内いたします。
（事前申込み・会費制）

10月26日（日） 9:00～15:30 開会 全体会場：同 KIITO ホール

（2日目開会）

復活選考

- ・前日のテーブル選考で選外になった団体から、新たな視点から復活させる目的で、ポスターセッション形式による追加推薦を投票で行ないます。復活推薦された団体は、全体選考（二次選考）の対象に加わります。

全体選考
（発表・二次選考）

- ・テーブル選考と復活選考で推薦された団体（入選）による発表（各3分）
- ・発表を受け、コーディネーターの進行のもと、コメンテーター、会場からの応援、意見も交えて選考を行います。最終選考への絞り込みを通じて、「いい川」、「いい川づくり」の評価の視点、ものさしを明らかにしていきます。

公開討論会
（最終選考）

- ・全体選考の結果、議論を受け、コーディネーターの進行のもと、コメンテーター、会場を交えた最終選考を通じて議論を深めます。全体をふりかえり、「いい川」のイメージや「いい川づくり」の新たな視点を共有します。

表彰・閉会式

- ・グランプリ、準グランプリ、特別賞などの表彰と講評
- ・オリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、ワークショップの成果を讃えあいます。



「川の日」記念行事「第17回「いい川」・「いい川づくり」ワークショップ in ひょうご神戸」は、「川の日」実行委員会の助成を受けています。

◆ 応募の方法

※プログラム等の都合上、発表エントリーは 30 件を目安に募集します。応募の締め切り前でも定数に達した時点で締め切ることがありますので、お早めにお申込み下さい。

1. 応募申込書(様式1) ⇒ 9 月 25 日まで(必着) ※別紙、ホームページからも Word 文書をダウンロードできます
: 選考用の手元資料原稿として使用します。様式(A4 サイズ, 1 ページ)にもとづき、内容については分かる範囲で記入してください。応募申込を受け登録次第、事務局よりご返信いたします。

2. パネルの縮小版(様式2、A4 サイズ) ※下記参照 ⇒ 10 月 5 日まで(必着)
: 応募申込書(様式 1)とともに選考用の手元資料の原稿として印刷(A4 サイズ・モノクロ)、配布します。実際のパネルとの多少の変更は構いません。

3. 発表用パネル(様式2、A1サイズ程度) ※下記参照 ⇒ 当日持参、または事前に送付。
: 下記参照、事前に送付される場合は、必ず事務局までご連絡ください。※会場には直接送れません

4. 水辺の風景や状況、活動の様子などの写真(1 点か 2 点) ⇒ 応募申込書か縮小版とともに送付
: 事前にエントリー団体の概要とともに大会ホームページで紹介します。また、当日発表時に会場全体でその川のイメージを共有するための写真をスクリーンに表示します。ホームページ用は、活動等の様子が分かる写真、スクリーン表示用の写真は、水辺全体の雰囲気が分かるような写真(文字なし)をお送りください。
※デジタル推奨、プリントも可。返却が必要な場合は予めお知らせください。

※別項「発表の方法」もあわせてよくご確認ください！

様式2【発表用パネル・パネル縮小版(資料印刷原稿)】について

・「パネル実物」はA1 (59×84cm) サイズ、「パネル縮小版」は A4 サイズ、(タテ・ヨコ使いとも可)

The diagram illustrates the layout of the panel. It features a large rectangular area for '応募内容 (表現自由)' (Application Content (Free Expression)). A dashed line indicates a '余白は上下・左右とも各 1.5 cm くらい' (Margin of about 1.5 cm on all sides). A red dashed box at the bottom right is labeled '記入欄 (パネルサイズで縦 5 cm 程度) をつけてください。パネルのヨコ使いの場合は右下へ' (Please attach an entry box (vertical 5 cm in panel size). In the case of horizontal use of the panel, attach it to the bottom right). Below this, there is a table structure for the entry information.

ふりがな 川や水辺の名称	(水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	県 市町村	
応募者名(ふりがな) 所属団体名		(記入不要) エントリーNo.

■発表用パネル (A1 サイズ)

- ・所定の記入欄以外は、写真や図表、イラストのほか、さまざまな材料を用いた立体的なものも可能です。こだわらず自由に表現してください。
- ・発表では複数のパネルを使用できますが、展示・投票用としてメインのパネル1 点を決めておいてください。
- ・会期中、パネルは各会場に立てかけて展示します。フレーム、発砲スチロール等、形状は自由ですが、まっすぐ立てかけられる強度になるよう工夫して下さい。持ち運びやすいよう二つ折りなども可(設置するためのスタンド等はこちらで用意します)。

■パネルの縮小版 (A4 サイズ)

- ・手元資料(冊子)の印刷(モノクロ)原稿として使用します。実際のパネルとの多少の変更可。

■共通事項

- ・余白は、上下・左右とも各 1.5 cm 位
- ・「記入欄」をつけてください。

記入欄: 拡大図(縮小版では原寸程度)

ふりがな 川や水辺の名称	(水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	県 市町村	
応募者名(ふりがな) 所属団体名		(記入不要) エントリーNo.

◇ 発表の方法 ※別項「応募の方法」もあわせてよくご確認ください！

- 発表用パネル(A1 サイズ、必須)のほか、選考の各過程を想定してご準備ください。配布資料等を当日持ってくることもできます。

選考会 1 日目(10/25・土):全体発表会、テーブル選考(一次選考)

- 応募申込書(様式 1)の「主に発表したいこと」等の内容を参考に、大まかなテーマで事務局によりグルーピングします。
- テーブル選考に先立ち、全体会場のステージで、全応募者による発表会を行ないます。発表時間は各3分で、発表のみを行います。発表者は複数名でもかまいません。質疑等は、全体発表会の後に行うテーブル選考で行います。
- 発表では、制限時間内であれば表現方法は自由です。音楽や映像等(動画可)も使用できます。水辺の状況や活動の様子、技術の内容など全体のイメージやアピールしたいことを伝えてください。ユニークな表現や、アピールしたい事を効果的に強調する創造的な工夫は、このワークショップでの大きな評価ポイントの一つになります。
- それぞれの川や水辺の全体のイメージを会場全体で共有するため、それぞれの発表中にその水辺の風景写真を1団体につき1点、映写します(発表者が使うスクリーンとは別のサブスクリーンを設置予定)。川や水辺の全体の様子が分かるような風景写真を事前にお送りください(別項「応募の方法」参照)。
- 発表パネルは、プログラムの過程で各会場等に移動、展示し、発表、選考、投票等で使用します。

選考会 2 日目(10/26・日):復活選考、全体選考(発表・二次選考)、公開討論会(最終選考)

- 2日目のスタートと同時に、ポスターセッション形式の復活選考を行ないます。前日のテーブル選考で選外となった発表団体から、2日目の選考担当者の投票によって、新たな視点から全体選考に追加推薦されます。
- テーブル選考及び復活選考からの推薦団体は、「入選」として全体選考の対象となります。全体会場のステージで各3分間の発表を行います。前日の発表の手ごたえや議論の結果等を受けて、内容を更新するなど工夫してください。
- 全体選考(二次選考)、最終選考を兼ねた公開討論会は、各コーディネーターによる進行のもと、“いい川”、“いい川”づくりの視点を明らかにしながら、コメンテーターや会場とのやりとりによって議論を深めていきます。
- ワークショップの成果を表彰式で称え合い、閉会となります。

◇ その他

- このワークショップの目的は、“いい川”のイメージを互いに共有することにより、開会から閉会までの2日間のフル参加を原則とします。
- 応募申込書(様式 1)とパネルの縮小版(様式 2)は、当日の選考用手元資料として冊子(A4 サイズ、モノクロ)にします。応募申込書に記入された個人情報については、主催者側で厳重に管理し、本大会に関わること以外の目的では使用いたしません。
- 1 日目(10/25)終了後に行う交流懇親会は、WEEKEND(東遊園地内)で開催予定です。会費制(予定:大人 5,000 円、学生 2,000 円)、事前申込による自由参加です。
- 市民の応募者で遠方の方には、旅費の一部補助を予定しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。行政、企業の方は自己負担にてお願いします。遠方の方など、チケット等のできるだけ早いご予約をおすすめします。
- 10/24(金)、10/25(土)の宿泊施設は、各自ご予約にあわせてご予約いただきますようお願いいたします。早めのご予約をおすすめします！

☆初めての応募、行政や企業などの事業、取組みの応募、参加も歓迎しています！

☆準備段階や当日など、運営をサポートする立場での参加も募集しています！詳しくは事務局まで



いい川・いい川づくりワークショップホームページ

URL:<http://mizukan.or.jp/kawanohi>

大会の詳しい情報、新しい情報は、大会ホームページ等で逐次、ご案内します。是非ご覧ください。
これまでの大会や関連情報、のほか、今大会のエントリー団体も紹介していきます。
詳細や不明な点は、下記事務局までお気軽にお問い合わせください。

●応募・問い合わせ先:いい川・いい川づくり実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会
TEL: 03-3408-2466 FAX: 03-5772-1608 E-mail: kawanohi-2006@mizukan.or.jp

「第 17 回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in ひょうご神戸」は、
公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています。

